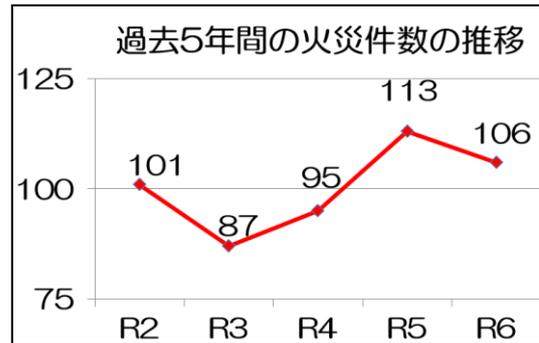
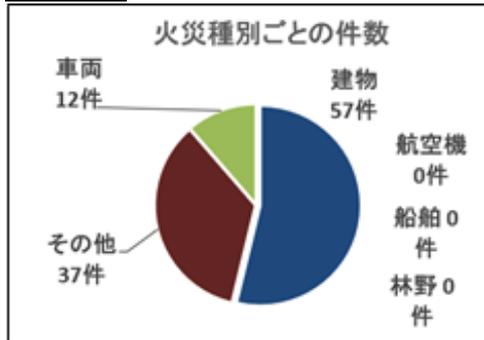




藤沢記者クラブ各位

令和6年火災と救急の状況

1. 火災

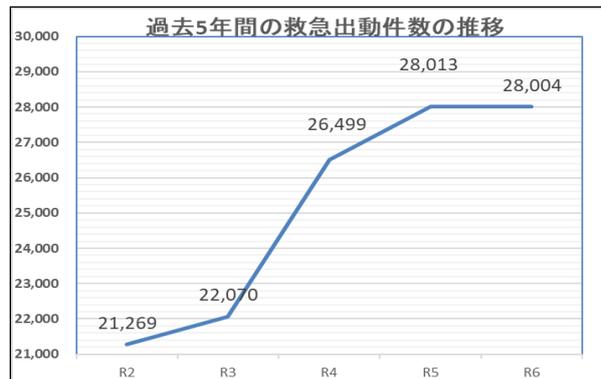
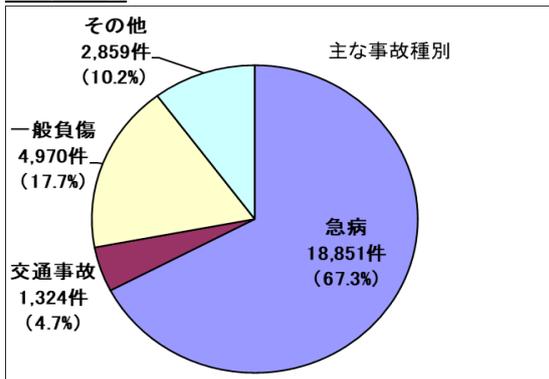


令和6年中の火災件数は106件で、前年に比べて7件の減少となりました。

火災による死者は4人で、前年より2人増加となっております。負傷者は14人で、前年に比べて1人の減少となっております。火災の種別では建物火災が57件で全体の半数以上を占め、車両火災は12件、その他火災が37件となっています。火災件数を火災原因別に多い順で見ると、「放火」(疑いを含む)が14件、「電気機器」が11件、「たばこ」が10件であり、令和5年と同様に「放火」(疑いを含む)が第1位となりました。

また、電気製品に関する火災が増加傾向であり、「電気機器」や「配線器具」、「電灯・電話等の配線」など電気を起因とした火災は合わせて21件発生し前年と比較して8件増加しております。火災による損害額は約3,529万円で、前年の約3,372万円に比べて増加する見込みとなっております。

2. 救急



2024年中の救急出動件数は28,004件(対前年比9件減)、搬送人員は25,443人(対前年比114人減)で救急出動件数、搬送人員ともに前年に比べ減少しましたが、過去2番目に多い出動件数となり、依然、救急需要は増加傾向にあると言えます。救急出動件数を主な事故種別で見ると、急病が18,851件となり、全体の67.3%となっています。また、搬送人員の傷病程度別では、中等症(入院診療)が15,210人となり、全体の59.8%となっています。

※令和6年中の数値は速報値です。

*この資料に関する問い合わせ

藤沢市役所 消防局

火災：予防課 高橋・大西(内線8122)
(直通50-8249)

救急：救急救命課 鈴木・入江(内線8161)
(直通50-3579)